

常葉大浜松キャンパス（浜松市浜名区都田町）の学生たちが、働き方の知識や県内の産業を学べるすごろくゲーム「ゼロから始める静岡人生設計」を完成させた。中高生に遊んでもらい、地元で就職する若者を増やしたい考えた。（小佐野慧太）

すごろく「ゼロから始める静岡人生設計」



すごろくゲーム「ゼロから始める静岡人生設計」を完成させた学生たち＝浜松市浜名区の常葉大浜松キャンパスで

地元就職 魅力知って

昨年5月、県外に転出する若者が多いことを地域の課題だと捉える学生8人でプロジェクトチーム「静岡活性隊」を結成。過去にゼミ生たちとキャリア教育に役立つすごろくを制作した同大経営学部鈴木章浩講師がアドバイザーとなり、メンバーたちで市職員や社会保険労務士への聞き取りや文献調査を続けてきた。完成したすごろくは、自動車製造や製紙など県内で盛んな産業の豆知識や、育児休暇や保険制度といった働き方に関する知識が35個のマス目に

書いてある。掛川花鳥園（掛川市）や沼津港深海水族館（沼津市）などの観光名所を紹介するマス目もあり、より詳しい施設情報が得られるQRコードも付けた。

1チーム2～3人で、一つのコマを進めるルール。止まったマス目によって「観光」「産業」「仕事」の3種類のカードをもらえたり失ったりし、合計枚数が多いチームが勝利となる。

1月中旬には、都田中学校（浜名区都田町）で生徒たちに遊んでもらった。ゲーム終了後に〇×クイズをして知識の定着を促す工夫も。当日に手ほどきをした鈴木皓斗さん（21）は「QRコードを読み取って熱心に情報を読む生徒の姿に手応えを感じた」と振り返る。

すごろくは希望する学校などに配布する。チームメンバーの松島匠さん（21）は「ぜひ多くの中高生にプレーしてもらい、進路選別に役立ててほしい」と期待していた。

中高生向け 常葉大生が考案